

令和5年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol.3

No. 109

湊保育園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 指針と照らし合わせながら、子どもの姿をとらえ職員間で語り合い共通理解をする。	(1) ○	
		(2) 保育者の自己評価、行事や取り組みについて保護者アンケートを行い、教育・保育の質の向上を図る。	(2) ○	保護者からの意見を聞きながら、行事に活かした。
		(3) 保育カウンセラーや専門機関との連携を密にし、一人ひとりに合わせた関りや支援方法を学び実践する。	(3) ◎	保育カウンセラーや専門機関からの助言に基づき、支援方法を職員間で共有・実践した。
		(4) 感染症の状況を知らせ、園舎や玩具の消毒、手洗い等を行い感染症予防に努める。	(4) ◎	換気、消毒、手洗い等、感染予防に努めた。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) みあっこ研修など園内研修を充実させ、職員間で学びあう機会を設ける。	(5) ○	園内のみあっこは全職員が参加できるように計画し、学びを共有する時間を持つことができた。
		(6) 施設長としての研修参加及び県内外の動向を情報収集する。	(6) ◎	コロナ渦、コロナ後に合わせ、教育・保育の情報を収集し、職員や保護者に発信した。
		(7) 職員の研修参加に向けて計画をし、積極的に参加できるようにする。	(7) ○	
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 個人懇談や送迎時の情報交換や育児相談を行い、保護者とともに考えていく。	(8) ◎	懇談や送迎時、電話相談など、情報提供や育児相談を行い、共に考える場を設けた。
		(9) 様々な配慮を必要とする家庭へ、育児力向上のための支援を行う。	(9) ○	専門機関と連携を取りながら、家庭に応じた支援を行うように努めた。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放を行い遊びの場の提供をしたり、保護者に寄り添った育児相談をしたりする。	(10) △	行事参加が主だったが、遊びの場を提供したり、育児相談を行ったりした。
		(11) 福井市の子育て支援に関する情報を提供する。	(11) ○	保護者の状況に合わせて、必要な情報を提供した。
		(12) 保育の相談及び援助への知識及び技術向上のための研修に参加する。	(12) ○	
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) 健康管理センターや療育センター、専門機関との連携を図り保育に活かす。	(13) ◎	療育機関に出向き、実際の支援を見ることで保育に生かす支援法を学び、職員間でも共有できた。
		(14) 保幼小接続会議に参加し、情報交換を行う。	(14) ○	地域別協議会に参加し、情報共有ができた。
		(15) 小学校との連携会議に参加し、子どもの育ちを共有していく。	(15) ○	小学校との連携会議に参加し、情報共有や意見交換ができた。
		(16) 子育て支援に関わる関係機関事業の把握と情報提供を行う。	(16) ○	
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 地域の民生児童委員と情報を共有し、地域の子育て環境の実情を把握すると共に必要な支援につなげる。	(17) ○	民生児童委員と定期的に情報交換することができた。
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 保育体験を受け入れ、子どもと触れ合う機会を設ける。	(18) ○	中学生や看護学生を受け入れ触れ合うことができ、子どもの育ちについて話し合うことができた。
		(19) 保護者会と園が協力し、行事などを通して保育園への理解を深めていく。	(19) △	行事の取り組みを伝えたり工夫したりすることで理解を得た事も多かったが、難しい面もあった。
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 地域の方と一緒に苗を植えたりさつまいも掘り体験をしたりして交流を深める。	(20) ○	
		(21) 地域の行事や文化などを知り、興味を持てるような活動を考える。	(21) ○	
V 安心して子どもを 生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 社会の動向に合わせて園としての役割について研修を行う。	(22) △	学びを職員間で共有していったが、全職員での共有は難しいこともあり、研修の工夫が必要だと感じた。
		(23) 研修で得た情報を職員間で共通理解する。また、個人情報保護法などについて周知徹底する。	(23) ○	研修での気づきを情報共有できた。また、情報管理について改めて話し合い、重要性を再確認した。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムに基づいた活動計画案を作成し、実施する	(24) ○	

《園での取り組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取り組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。